

あ と が き

本号には、OECD/NEA のデータバンクと IAEA の核データセクションの記事が載りました。長谷川さんの記事は、かねがね NEA の活動の全体像を知りたいと思っていましたので、片倉さんの WPEC の記事と併せ、大いに勉強になりました。それにしても、NEA にロシアが加盟していないのは、マーシャルプランに対するソ連時代の行きがかりのためでしょうか。NEA データバンクに米国が加盟しておらず、WPEC の会合には両者が顔を出すというのも興味を引きます。冷戦は終わったのに、原子核の研究にはなお軍事機密の影がつきまといます。今度の国連安全保障理事会での全会一致の決議が、このような忌まわしい影を払拭するきっかけになることを期待するものです。ところで、長谷川さん、他所の国で他国の人を部下に使うことには、いろいろご苦勞があったと思います。是非続編を「読者の広場」にお寄せください。期待しています。

大塚さんの「読者の広場」は、とても楽しい内容で、読者の皆さんもジーンズのシャツとパンツでコーヒークラブをふらりと訪ねて見たくなったことでしょう。この記事でメンゴーニ氏が東京に来ていることを知りました。核データ研究会に顔を出してくれるとよいですね。大澤さんの記事に出てくるマシロフ氏の話も面白いですね。国際会議で質問したら、後で演者から（評価にかかわるから）公開の場所であるような質問をするなど言われたという話を以前聞いたことがあります。攻撃的になるのも、自分の地位や名誉がかかっているためかも知れません。

この夏、東工大名誉教授の久武和夫さんが亡くなられたことを知りました。久武さんは、1973 年にシグマ委員会が設置した燃料計量核データ専門部会の部会長に就任されています。「燃料計量」は IAEA 保障措置 (safeguards) の柱となる核物質の計量管理のことです。また WRENDA の調査でもリーダーとして活躍されました。これらの活動がきっかけとなり、日本が ENSDF の作成作業に参加することになったのです。ENSDF グループが出来たときには顧問をお願いしました。数年前に病を得てリハビリを続けているとのことでしたが、今年の正月の年賀状には、吉沢康和さん（広島大名誉教授）と「我が国の核物理学の進歩」の原稿を執筆中とあり、添え書きの筆跡もしっかりしておられました。お会いできることを楽しみにしていましたのに残念です。久武さん、せめて夢の中に現れてお話をお聞かせください。

喜多尾憲助

kitaoken@aol.com

核データニュース編集委員会

中川庸雄（委員長、原子力機構）、井頭政之（東工大）、石川 眞（原子力機構）、
岩本 修（原子力機構）、山野直樹（東工大）、吉田 正（東京都市大）、渡辺幸信（九大）、
[オブザーバ] 喜多尾憲助、[編集] 石橋貞子